

特集

第60回国民体育大会 「晴れの国おかやま国体」秋季大会

盛大に開催



選手宣誓をする岡山県チーム主将の吉村啓選手(神原スポーツ公園)

第60回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」秋季大会の高梁会場での競技が、10月23日から26日までの4日間、3会場で行われました。
正式競技のバレーボール(成年男子6人制)が市民体育館、ソフトボール(成年男子)が神原スポーツ公園、また、公開競技の高等学校野球(軟式)がなりわ運動公園で行われ、熱戦が繰り広げられました。



アトラクションの大津寄渡り拍子保存会による「京都洞仙流渡り拍子」(上)と備中山山藩古銃鉄砲組による「火繩銃空砲演武」(下)



歓迎のあいさつをする秋岡市長



高梁中学校生徒の先導で選手団が整列



みんなで支えた国体

大会期間中は、会場までのシャトルバスの案内、駐車場の誘導、会場内の清掃、式典でのプラカード持ちやグラウンド整備などに、市民協力員や市内の中学・高校生に市職員が加わり、約1300人が大会を支えました。会場には多くの市民の皆さんが応援に駆けつけ、大会を盛り上げました。

また、開催前から市民参加による「おもてなし運動」も市内各地で展開され、道路の美化清掃や、沿道を花で飾る「花いっぱい運動」など、幅広い層が大会運営にかかわりました。

開始式

23日には、それぞれ3会場で開始式が行われました。

プラカードを持った中学生に先導された選手団の入場の後、市民体育館と神原スポーツ公園の会場では、晴れの国おかやま国体高梁市実行委員



アトラクションのガールスカウト岡山県第18団による「ボンボン演技」(上)と備中神楽高梁支部による「備中神楽-猿田彦の舞-」(下)



高梁東・北中学校生徒の先導で選手団が整列(市民体育館)



成羽中学校生徒の先導で選手団が入場(なりわ運動公園)



アトラクションの成羽町渡り拍子保存会による「渡り拍子」(上)と成羽町婦人協議会会員有志、成羽・吹屋小児童による「成羽おどり」(下)

バレーボールをご観戦



中央は説明役の(財)日本バレーボール協会会長 立木正夫氏

23日市民体育館では、13時20分から14時まで常陸宮・同妃両殿下がバレーボール競技を観戦され、熱戦を繰り広げる選手を応援されました。



会長の秋岡市長が「日ごろ鍛えられた力と技を遺憾なく発揮されますように。またこの大会は、市民の協力があって成り立っています。どうか交流を図っていたとき、高梁での大会が思い出深いものになりますように」とあいさつしました。

また、郷土芸能などのアトラクションも披露され、観客や全国から訪れた選手、役員の皆さんは演技に見入っていました。